



地域グループ 持続可能な地域開発委員会

持続可能な好循環が生まれる 地域づくりに繋がる運動

Action! sheet

<運動の背景・目的>

① 実施背景

人口減と高齢化が進む中、外部視点を取り入れ、地域の 自然や伝統文化の魅力を発掘、活用する必要がある。

② 実施目的

地域に眠る活用しきれていない資源に新たな価値を見出 すことで、持続可能な地域経済の活性化を実現すること を目的とする。

く実施スケジュール>

~12月	各ブロック協議会連携、資源の調査、発掘、研究
1月	京都会議で公開委員会 推進運動の発信
2月~	外部視点を取り入れた環境、経済の好循環モデルの構築(デモツアー検証と造成、販売)
7月~	サマーコンファレンス セミナー開催
9月~	報告
10月~	全国大会 運動を未来へ繋げる

く運動推進のステップ>

理想とする未来

自然や伝統文化に新たな価値を見出し、 経済好循環を生む地域を実現された未来。

01

資源の発掘

・地域に眠る未知の 資源を、地元の方 が主体となって発 見、収集する。

活用方法 **ത** 伝授

02

• 専門家が地域資 源の具体的な活 用方法を指導し、 発掘した資源のポ テンシャルを引き 出す。

03

魅力の強化

・外部からの視点や 市場のニーズを取 り入れ、地域資源 の魅力をさらに高 める。

経済 **ത** 活性化

04

発掘した資源の魅 力を最大限に活用 し、地域経済の活 性化へと繋げる好 循環モデルを構築 する。

必

動

実

行

要 心に応じ て 軌 道 修 正

<パートナー、アドバイザー>

- ·株式会社ARTH 代表取締役 高野 由之氏
- ・株式会社東北アレンジャーズ 代表 佐藤 大介 氏

高野氏、佐藤氏には、眠る資源の地域選定へ のアドバイス、高野氏はサマーコンファレンス での講演にご協力いただいた。

<サマーコンファレンスまでの成果>

運動としての成果

パッケージツアーを3つ造成。 パッケージツアー販売、予約。

② 地域の変化

自立自走型の持続可能な地域が増加。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる! 運動の推進議案をチェック!





ACTION!

どうしたらいいか分からない!を解決する 相談・サポートの申し込みはこちらから! 日本JC の会議委員会が、2026年に向け ての運動構築方法をサポート!



連絡先: 持続可能な地域開発委員会 担当者氏名 中村 優弥 TEL: 090-7507-1830 MAIL: sasaiyuya9@gmail.com